

令和9年度

# 政策提言書

白鷹町議会



# 令和9年度 政策提言

白鷹町議会は、地方自治における二元代表制の一翼を担い、町政の監視機能や立法機能に加えて、町政の発展、町民の福祉向上を目指して、これまで政策提言を実施してまいりました。

本年度は、白鷹町議会として、予算審議や決算審議、所管事務調査、意見交換会等を踏まえて、次のとおり政策提言を取りまとめたところであります。

本議会は、少子高齢化や人口減少、物価高騰等への対応策が求められる中において、第6次総合計画に掲げられている各施策を重視するとともに、積極的な事業の推進に期待しているところであります。「人、そして地域がつながり輝き続ける 潤いのまちづくり」の実現に向け、併せて「まち・ひと・しごと創生」に邁進していく必要があると認識しています。

その中で、急激な人口減少に歯止めをかけ、安全・安心なまちづくり、魅力あるまちづくりに関して、特に、国道348号の再整備、森林・林業再生のための緑の循環システムの構築、DXの推進、少子化対策等については、これまで同様推進されるよう提言します。

加えて、本年度は、「有害鳥獣対策の推進」や「学校のあり方・部活動地域展開の推進」、「女性・若者が魅力を感じる取り組み」など、喫緊の解決・対応が課題となっている点に特化して提言します。

町長はじめ執行部におかれましては、本提言が議会の総意としてまとめられたものであることを真摯に受け止め、今後の施策、そして、令和9年度予算に具体的に反映されるよう強く望みます。

令和8年8月26日

白鷹町長 田 宮 修 殿

白鷹町議会議長 菅 原 隆 男

## 提言1. 安らぎを感じ、安心して暮らせる「まち」づくり

### 1. 有害鳥獣対策の推進について

有害鳥獣による農作物等被害や生活環境への影響が深刻化しており、住民の安全・安心の確保や農畜産業の維持が課題となっている。また、クマの出没等により公園や里山の利用にも影響が生じている。

このため、町民への丁寧な説明のもと、捕獲体制や処理体制の整備を進めるとともに、AIやドローン等の先進技術を活用した効果的な鳥獣対策を推進されたい。

#### 【提言事項】

- ・有害鳥獣対策における捕獲体制の強化及び捕獲個体の適正処理については、その必要性を町民に丁寧に説明し、理解を得ながら推進すること。
- ・AIやドローン等の先進技術を活用した調査・監視・出没予測等の実証及び導入を進めること。
- ・公園や里山を安全に利用できる環境づくりを推進すること。

### 2. 観光拠点施設の将来像とふるさと森林公園再整備について

ふるさと森林公園の再整備については、物価高騰等により事業費が増嵩していることから、改めて方針を検討していくとの説明があった。整備方針の検討にあたっては、町民の意見を十分に踏まえながら、ふるさと森林公園単独ではなく、道の駅白鷹ヤナ公園をはじめとする観光拠点施設全体の将来像を見据えて判断されるよう提言する。

#### 【提言事項】

- ・ふるさと森林公園、道の駅白鷹ヤナ公園等の観光拠点施設について、それぞれの役割や将来像を整理するとともに、重点的に整備・投資すべき施設や機能を明確にし、町全体の観光・交流戦略の方向性を示すこと。
- ・人口減少を見据え、地域循環型白鷹ウェルネスツーリズムの推進を通じて、交流人口及び関係人口の拡大につながる施設間連携や事業展開をさらに推進すること。
- ・道の駅白鷹ヤナ公園がさらに魅力ある施設となるよう、関係機関等との幅広い検討を進めるとともに、ふるさと森林公園の再整備については、町民の意見を十分に踏まえながら、観光拠点施設全体の方向性との整合を図りつつ適時適切に推進すること。

## 提言２．新たな人の流れの形成と、郷土を愛する「ひと」づくり

### １．学校のあり方・部活動地域展開の推進について

本町の出生数は、近年４０人前後で推移し、少子化の進行により、学校教育を取り巻く環境が大きく変化している。学校は地域社会と深い関りを持つ地域資源であり、また、子どもたちの学習機会や成長機会を保障する重要な社会資源である。今後の小学校の適正規模・配置のあり方については、子どもの学びと成長における最適な環境をどう確保するかという視点や、地域全体で子どもを育むという視点からも、保護者をはじめ、地元住民等関係者からの声を十分に傾聴し、検討すること。

また、中学校においては、令和８年度より本格的な部活動の地域展開が始まった。現在も、受け皿となる団体や指導者の確保、費用負担のあり方等の課題が残っている。今後も、すべての子どもが等しく活動の機会を得られる環境の構築を図ること。

### ２．持続可能な組織づくりについて

本町での人口減少による担い手不足は、企業だけでなく、地域コミュニティ、医療・介護機関、消防団、各種団体など、さまざまな組織の機能低下を引き起こしている。そのため、今後は少ない人数でも組織を維持できる仕組みづくりが重要となる。このようなことから、組織の再編や、デジタル化、多様な担い手の協力、活動の簡素化等、持続可能な組織運営ができるように、各組織に対して、必要に応じた支援を行うこと。

## 提言3. 安心して働き、魅力と活力にあふれる「環境」づくり

### 1. 女性・若者が魅力を感じる取り組みについて

本町では、都市部等への人口流出が続き、特に若年層や女性の転出超過が出生数減少や地域活力低下に直結しており、大きな課題となっている。そのため、これらを抑制するためには、女性活躍の場を推進するとともに、若者が地域に魅力を感じ、住み続けたいと思える環境を整備することが急務である。

本町では、第3次白鷹町男女共同参画計画が策定された。持続可能な地域社会の実現に向け、若者や女性が地域で働き続け、安心して暮らし活躍できる環境づくりのために、これまでの子育て支援や住宅支援のほか、魅力のある雇用の創出や女性・若者向け起業支援制度の拡充、女性のキャリア形成、若者や女性の声が町に届く仕組みづくり等を総合的に推進すること。